

~~~~ 学び・伝える あなたが歴史のメッセンジャー ~~~~

まんもうかいたく  
次世代満蒙開拓語り部養成講座

ラボ  
「ピース Labo.」参加者募集!

日本は戦時中、国策として中国の東北部「満州」に農業移民・満蒙開拓団を約27万人送り出しました。長野県からは全国でダントツの3万3千人、中でも飯田下伊那は8千4百人もの人を送り出し半数近くが現地で亡くなっています。なぜ人々は大陸に渡ったのでしょうか。当時はどんな社会だったのでしょうか。なぜ犠牲者がこんなにも多いのでしょうか。体験者が高齢化し語り部が少なくなっている今こそ、この歴史を学び次世代に受け継がなければなりません。

満蒙開拓の新たな語り部を養成する講座「ピース<sup>ラボ</sup>Labo.」を開催します。建設予定の平和記念館に将来ボランティアとしてかかわってくださる方や、満蒙開拓の歴史を学んでみたいという仲間を募集します。気軽にご参加ください。

日程 2012年1月～1年間 毎月最終火曜日 夜7時～9時

\* 第1回目は1月31日(火)

会場 飯田市伊賀良公民館(飯田市大瀬木570-1)

ラボ  
Labo.メイト(参加者)の対象 \*個人参加のみ

平和でやさしい社会を望むあなた  
何か社会に貢献したいと思っているあなた  
今のうちに戦争体験を聴いておかなくちやと感じているあなた  
満蒙開拓って何? 残留孤児って何? なあなた  
子ども達に平和の大切さを伝えていきたいと思っているあなた  
自分の生きがいを探しているあなた  
社会を変えるには自分からと思うあなた

ラボ  
Labo.メニュー(講座プログラム) \*詳しいメニュー決定しだいHPでお知らせします

「語り部」の話を聴く  
中国帰国者、家族の話を聴く  
研究者や専門家の講義を聴く  
・近現代史を学ぶ ・満蒙開拓の歴史を学ぶ ・残留孤児の帰国を学ぶ  
「伝える」を学ぶ  
・話す ・書く ・撮る ・つくる  
外国の平和教育について聴く  
フィールドワーク  
・飯田下伊那の満蒙開拓慰霊碑を巡る ・帰国後の再入植地を訪ねる

参加費 1回ごと500円 (お茶菓子付き/1回のみ参加も可能)

申込み・問い合わせ \*必ず事前にお申し込み下さい

事務局:満蒙開拓平和記念館事業準備会(担当 三沢亜紀)

電話・FAX 0265-43-5580

Eメール nihao-iida@mis.janis.or.jp

## Labo.メニュー(上半期予定)

(H24.1.31現在)

| 日程    | 内容                                                                                                                                         | 講師                                                                                                                               |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月31日 | オリエンテーション&満蒙開拓の基礎を学ぶ                                                                                                                       | 寺沢秀文                                                                                                                             |
|       | ピースLabo.の目的やこれからの進め方についてご説明します。Labo.メイトの皆さんにも自己紹介していただき、親睦をはかりたいと思います。また講座は第1回目ということで、満蒙開拓の歴史入門編として基礎的なことをざっくりと学びます。                       | 満蒙開拓平和記念館「事業準備会専務理事。両親が開拓団として満州に渡り、戦後は松川町増野に再入植。その背中を見て育ち、日中友好活動や記念館建設事業に取り組んでいる。本業はチョー多忙な不動産鑑定士。                                |
| 2月28日 | 「語り部」の話を聴く                                                                                                                                 | 語り部」お二人                                                                                                                          |
|       | 満州に渡ったいきさつや満州での生活、逃避行や収容所の実態、戦後引き揚げて来てからの苦労、亡くなった人達への思いなど満蒙開拓体験者をお招きし直接お話しを聴きます。戦争体験者の方々の言う“平和への願い”は重さが違います。ぜひ、ご本人から話しが聴けるこの機会をのがさないでください。 |                                                                                                                                  |
| 3月27日 | 残留孤児について学び、帰国者の話を聴く                                                                                                                        | 小林勝人 / 帰国者お二人                                                                                                                    |
|       | なぜ人々は祖国に帰ることができなかったのでしょうか。どんな人生を歩んでこられたのでしょうか。「残留孤児」「残留婦人」が生まれた歴史を学び、長い年月を経て日本に帰国された方々のお話を聴きます。                                            | 小林勝人「飯田日中友好協会事務局長として中国帰国者の皆さんの生活支援に長年携わる。                                                                                        |
| 4月24日 | 満蒙開拓の社会背景「近現代史」を学ぶ                                                                                                                         | 長野県立歴史館 青木隆幸さん                                                                                                                   |
|       | 日本史の中でも近現代史に自信のないあなた！「満洲国」ってどんな存在だったの？日中戦争って知ってます？満蒙開拓の歴史を理解する上で近現代史をもう一度学びます。                                                             | 3年前まで飯田高校で社会科を教えておられた青木先生。現在は更埴にある県立歴史館にお勤めです。満蒙開拓の話を経歴背景とともに映像を使いながら分かりやすくお話しいたします。                                             |
| 5月 日  | フィールドワーク「戦後の再入植地を訪ねる」                                                                                                                      |                                                                                                                                  |
|       | 松川町の増野、根羽村の池ノ平など、戦後満州から引き揚げてきた人達が生活する場所を求めて森林や荒地を切り開いた地域を訪ねます。                                                                             |                                                                                                                                  |
| 6月26日 | 帰国者の家族の話を聴く                                                                                                                                | 大橋春美さん                                                                                                                           |
|       | 帰国者と一緒に中国人の結婚相手や中国で生まれた子供達も日本に来て生活されています。言葉や習慣の違いに苦労し、いじめや差別もあったとききます。国や戦争に翻弄された人、その家族の思いに耳を傾けます。                                          | 残留孤児だった父親と中国人の母親と一緒に8歳の時に日本に帰国。中学の英語教師となり、現在は市内の小学校にお勤めです。数年前、お子さんを連れて中国の大学に留学。様々なことを乗り越え、今は日本と中国、世代と世代をつなぐ架け橋の役目を果たしたいとおっしゃいます。 |
|       |                                                                                                                                            |                                                                                                                                  |